

**滞在理由の異なる外国人への
親近感の違いとその規定要因
—川崎市民意識・実態調査のデータから—**

東京大学大学院

園田薫

問題背景・先行研究

- 入管法改正にともない、更なる外国人の増加も見込まれ、外国人との共生が重要性を増している。

- 外国人の寛容度に関しては、様々な蓄積がある。
 - 年齢が負の効果を持つ（鐘ヶ江 2001; Nukaga 2006; 寺島・本田 2009）
 - 男性が正の効果を持つ（松本 2006）
 - 学歴が正の効果を持つ（伊藤 2000; 鐘ヶ江 2001; 大槻 2006; Nukaga 2006）

問題背景・先行研究

- ◆ブルーカラーと比べて、ホワイトカラーの方が外国人に寛容である（田辺 2002; 濱田 2008）
- ◆多様なパーソナルネットワークを持つ女性ほど外国人に寛容である（伊藤 2000）
- ◆接触仮説（Allport 1954=1961）：外国人との接触頻度が高まるほど、外国人に寛容である（大槻 2006; Nukaga 2006; 濱田 2008; 永吉 2008）
- ◆外国の文化に対する嗜好を持つほど、外国人に寛容である（大槻 2007; 寺島・本田 2009）

問題背景・先行研究

- 個人属性だけでなく、集団的な要因も外国人の寛容度に影響することが示唆されてきた。
 - 居住地によって外国人の寛容度が異なる
(松本 2004, 2006; 大槻 2006)
 - 個人要因を統制しても地域の外国人比率が寛容度に影響する (中澤 2007; 濱田 2008)
- 外国人寛容度に関する既存研究の2つの死角

問題背景・先行研究

①既存の研究では「外国人」のカテゴリーが細分化されていないことが多く、細分化する場合も主にエスニック・グループの差に注目していた。

(田辺 2004; 山本・松宮 2010; 大槻 2009)



本報告では、**滞在理由**（就労・留学・観光など）の**異なる外国人**に対する寛容度に注目する。

問題背景・先行研究

- ②地域要因がどの程度個人の意識に影響するのか、同じ地域を対象とした研究と比較検討する必要がある。川崎では川崎区よりも宮前区において外国人への排斥感情が少ない傾向がある（鐘ヶ江 2001）



先行研究の川崎調査（鐘ヶ江 2001）と比較でき、また7地区において居住する外国人数や地域内の外国人率が異なることから、2018年に行われた川崎市民調査のデータをもとに検討する。

データの特徴

- 本報告では、「川崎市の地域包括ケアシステムに関する市民意識・実態調査」データを用いて計量的に分析する。
- 外国人に対する親しみをその滞在理由ごとに尋ねている質問を、分析の中心にすえる。
 - 特別永住権をもつ外国人、結婚で日本に移住した外国人、単純労働に従事する外国人、高度専門職に従事する外国人、外国人観光客、外国人留学生、日系人の7カテゴリー

データの特徴

川崎7地区における管区別年齢別の外国人数・外国人比率

	0～14歳		15～64歳		65歳～		合計	
	外国人数	外国人比率	外国人数	外国人比率	外国人数	外国人比率	外国人数	外国人比率
川崎区	1772	6.62%	12980	8.38%	1096	2.12%	15848	6.79%
中原区	401	1.17%	4940	2.73%	226	0.57%	5567	2.19%
麻生区	232	0.98%	2292	2.04%	109	0.27%	2633	1.49%
幸区	569	2.50%	4202	3.87%	257	0.71%	5028	3.00%
高津区	371	1.22%	4043	2.59%	218	0.52%	4632	2.03%
宮前区	294	0.90%	2959	1.95%	164	0.35%	3417	1.48%
多摩区	301	1.27%	4100	2.85%	138	0.33%	4539	2.17%

出典：川崎市管区別年齢別外国人住民人口データより著者作成

→外国人数・比率が高いほど、排斥感情が高まる（鐘ヶ江 2001）

データの特徴

カテゴリー別外国人への親近感の平均・標準偏差

	永住権		結婚相手		単純労働		専門職		観光客		留学生		日系人	
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
川崎区	3.15	0.98	3.48	0.90	3.00	0.83	3.36	0.82	3.35	0.91	3.50	0.85	3.50	0.81
中原区	3.24	1.04	3.64	0.93	2.92	0.92	3.45	0.95	3.42	0.96	3.58	0.96	3.63	0.90
麻生区	3.29	1.00	3.62	0.90	2.97	0.96	3.40	0.93	3.36	0.94	3.55	0.91	3.52	0.92
幸区	2.99	1.02	3.37	0.95	2.97	0.87	3.29	0.88	3.24	0.97	3.32	0.96	3.36	0.88
高津区	3.21	0.95	3.60	0.93	3.09	0.92	3.44	0.90	3.35	0.97	3.56	0.93	3.52	0.89
宮前区	3.22	1.03	3.57	0.93	3.05	0.97	3.41	0.89	3.34	1.01	3.56	0.92	3.45	0.96
多摩区	3.22	1.03	3.59	0.95	3.02	0.96	3.47	0.90	3.33	0.98	3.53	0.92	3.58	0.90
合計	3.19	1.01	3.55	0.93	3.00	0.92	3.40	0.90	3.34	0.96	3.52	0.93	3.51	0.90

データの特徴

- 単純労働者や特別永住権をもつ外国人に対する親近感が相対的に低く、結婚で日本に移住した外国人・留学生・日系人に対しては相対的に高い値を示している。
 - 外国人数と外国人比率がともに高い幸区、川崎区において平均的に外国人への親しみを感じていない。特に幸区は単純労働者に対する意識を除いて7地区のなかで最も低い値を示している。
- この分布をもとに、その規定要因を分析する

分析方法

□外国人への親近感を従属変数とした回帰分析

➤ 独立変数は、各モデルで段階的に投入する。

- モデル1には年齢、性別、居住年数、従業上の地位、仕事内容、世帯年収、教育年数などの個人がもつ基礎的な属性変数を投入
- モデル2には外国人・外国文化との接触頻度、一般的な外国人に対する寛容度を投入
- モデル3には居住地域の外国人比率を投入

分析方法

- 外国人寛容度における地域の効果を測定するうえでマルチレベル分析が一般的な手法として知られるが（中澤 2007）、今回マルチレベル分析を採用せず、7地区のクラスターで同一の標準誤差を仮定しないモデルを採用する。
- = 仮に7地区をマルチレベルモデリングしてしまうとカテゴリーが少なく、十分な自由度が担保されない。そのため、7地区内での残差の独立性を仮定せず、クラスター化標準誤差（Primo et al. 2007）を用いることで係数の標準誤差を修正している。
 - STATAを用い、VCEオプションにてクラスター化標準誤差を計算した。

分析方法

分析に用いる独立変数の基礎統計量

変数名	N	平均	標準偏差
性別	2,440	0.461	0.499
年齢	2,424	54.719	17.827
教育年数	2,340	13.800	2.284
世帯年収	1,725	793.449	654.409
居住年数	2,418	20.815	18.956
従業上の地位	2,332	3.706	2.597
仕事内容	1,543	3.234	1.997
外国人一般への寛容度	2,347	13.060	3.425
外国人・外国文化との接触頻度	2,352	13.855	4.129

分析結果

	永住権						結婚相手						単純労働						専門職					
	model.1		model.2		model.3		model.1		model.2		model.3		model.1		model.2		model.3		model.1		model.2		model.3	
	β	S.E.	β	S.E.	β	S.E.	β	S.E.	β	S.E.	β	S.E.	β	S.E.	β	S.E.	β	S.E.	β	S.E.	β	S.E.	β	S.E.
切片	2.731	0.352 **	0.508	0.402	0.687	0.420	3.458	0.411 **	1.536	0.410 **	1.664	0.438 **	2.738	0.308 **	0.746	0.294 *	0.764	0.332 †	3.006	0.334 **	1.233	0.374 *	1.305	0.410 *
性別	-0.335	0.049 **	-0.264	0.040 **	-0.264	0.040 **	-0.284	0.045 **	-0.221	0.037 **	-0.221	0.037 **	-0.089	0.054	-0.025	0.053	-0.025	0.053	-0.125	0.063 †	-0.068	0.054	-0.068	0.054
年齢	-0.002	0.003	0.003	0.002	0.003	0.002	-0.004	0.003	0.000	0.002	0.000	0.002	-0.001	0.002	0.003	0.002	0.003	0.002	0.000	0.004	0.004	0.003	0.003	0.003
教育年数	0.046	0.022 †	0.020	0.019	0.016	0.019	0.035	0.025	0.010	0.020	0.007	0.021	0.035	0.022	0.013	0.018	0.012	0.019	0.044	0.019 †	0.016	0.017	0.015	0.017
世帯年収	-0.000	0.000	-0.000	0.000	-0.000	0.000	0.000	0.000	-0.000	0.000	-0.000	0.000	0.000	0.000	-0.000	0.000 †	-0.000	0.000 †	0.000	0.000	-0.000	0.000	0.000	0.000
居住年数	0.002	0.001	0.004	0.002 †	0.004	0.002 †	0.000	0.001	0.002	0.002	0.003	0.002	0.001	0.001	0.003	0.002	0.003	0.002	0.000	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002
従業上の地位																								
常時雇用	(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)	
自営・自由業	0.170	0.098	-0.027	0.069	-0.031	0.068	0.177	0.078 †	0.001	0.068	0.000	0.066	0.086	0.085	-0.088	0.070	-0.088	0.069	0.031	0.109	-0.143	0.109	-0.144	0.108
臨時・パート・アルバイト	-0.103	0.132	-0.114	0.091	-0.120	0.090	-0.110	0.109	-0.121	0.075	-0.125	0.073	-0.186	0.144	-0.200	0.112	-0.201	0.111	-0.264	0.113 †	-0.274	0.098 *	-0.277	0.097 *
派遣社員	0.071	0.116	0.047	0.133	0.045	0.135	-0.107	0.163	-0.136	0.193	-0.137	0.193	0.122	0.096	0.098	0.062	0.097	0.062	0.128	0.120	0.092	0.113	0.092	0.114
契約社員	0.158	0.118	0.083	0.151	0.078	0.151	-0.052	0.066	-0.113	0.095	-0.117	0.094	0.126	0.093	0.060	0.076	0.060	0.076	-0.083	0.092	-0.137	0.119	-0.138	0.119
その他	-0.546	0.516	-0.519	0.282	-0.527	0.283	0.002	0.435	0.000	0.232	-0.006	0.234	-0.063	0.281	-0.052	0.101	-0.053	0.103	-0.223	0.190	-0.250	0.097 *	-0.253	0.096 *
仕事内容																								
専門職・技術職	(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)	
管理職	0.152	0.086	0.146	0.071 †	0.141	0.072 †	0.085	0.041 †	0.066	0.053	0.063	0.054	-0.096	0.068	-0.109	0.099	-0.109	0.099	-0.129	0.066 †	-0.157	0.087	-0.158	0.086
事務職	0.021	0.087	0.133	0.089	0.127	0.093	0.027	0.115	0.121	0.103	0.117	0.107	-0.168	0.081 †	-0.070	0.079	-0.070	0.080	-0.203	0.082 *	-0.119	0.089	-0.121	0.090
販売職	0.110	0.103	0.166	0.090	0.153	0.095	0.097	0.103	0.139	0.097	0.130	0.104	0.105	0.107	0.150	0.071 †	0.148	0.072 †	-0.029	0.067	0.002	0.064	-0.003	0.065
サービス	-0.015	0.124	0.008	0.104	0.020	0.109	-0.093	0.125	-0.054	0.102	-0.058	0.107	0.092	0.122	0.124	0.089	0.123	0.090	-0.065	0.138	-0.016	0.120	-0.018	0.121
生産現場・技能職	0.197	0.139	0.348	0.147 †	0.353	0.149 †	-0.026	0.180	0.111	0.179	0.114	0.180	-0.128	0.076	0.010	0.085	0.010	0.085	-0.178	0.115	-0.043	0.103	-0.041	0.103
運輸・保安職	0.056	0.106	0.205	0.095 †	0.207	0.091 †	-0.007	0.112	0.134	0.146	0.136	0.143	-0.201	0.146	-0.066	0.113	-0.065	0.113	-0.368	0.127 *	-0.221	0.128	-0.220	0.128
その他	0.292	0.157	0.296	0.138 †	0.304	0.131 †	-0.142	0.224	-0.146	0.188	-0.140	0.181	-0.058	0.190	-0.055	0.140	-0.054	0.140	-0.146	0.182	-0.159	0.130	-0.156	0.127
外国人一般への寛容度			0.148	0.011 **	0.147	0.011 **			0.115	0.011 **	0.114	0.010 **			0.126	0.007 **	0.126	0.007 **			0.094	0.010 **	0.094	0.010 **
外国人・外国文化との接触頻度			0.024	0.004 **	0.023	0.004 **			0.035	0.007 **	0.035	0.008 **			0.027	0.008 **	0.027	0.008 **			0.049	0.005 **	0.049	0.005 **
外国人比率					-3.031	0.594 **					-2.166	0.837 *					-0.313	1.075					-1.207	1.026
N	1130		1130		1130		1136		1136		1136		1135		1135		1135		1135		1135		1135	
R2乗	0.031		0.288		0.290		0.036		0.260		0.262		0.026		0.268		0.268		0.040		0.246		0.247	
調整済みR2乗	0.016		0.276		0.277		0.021		0.248		0.249		0.011		0.255		0.255		0.025		0.233		0.233	

** 1%有意、 * 5%有意、 † 10%有意

分析結果

	観光客						留学生						日系人						
	model.1		model.2		model.3		model.1		model.2		model.3		model.1		model.2		model.3		
	β	S.E.	β	S.E.	β	S.E.	β	S.E.	β	S.E.	β	S.E.	β	S.E.	β	S.E.	β	S.E.	
切片	2.403	0.330 **	0.659	0.304 †	0.572	0.314	2.425	0.347 **	0.613	0.377	0.616	0.392	2.555	0.339 **	0.987	0.361 *	1.007	0.413 †	
性別	-0.074	0.067	-0.017	0.060	-0.017	0.060	-0.158	0.050 *	-0.100	0.042 †	-0.100	0.042 †	-0.074	0.028 *	-0.024	0.025	-0.024	0.025	
年齢	0.003	0.002	0.006	0.002 *	0.006	0.002 *	0.003	0.002	0.007	0.001 **	0.007	0.001 **	0.008	0.003 *	0.011	0.003 **	0.011	0.003 **	
教育年数	0.064	0.024 *	0.030	0.020	0.032	0.020	0.071	0.024 *	0.042	0.020 †	0.042	0.020 †	0.042	0.020 †	0.017	0.019	0.016	0.019	
世帯年収	0.000	0.000	-0.000	0.000	-0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-0.000	0.000	-0.000	0.000	
居住年数	-0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	0.002	0.000	0.001	0.003	0.001 †	0.003	0.001 †	-0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	
従業上の地位																			
常時雇用	(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		
自営・自由業	0.157	0.144	-0.032	0.125	-0.031	0.125	0.098	0.112	-0.082	0.101	-0.082	0.101	0.236	0.088 *	0.078	0.074	0.078	0.074	
臨時・パート・アルバイト	-0.100	0.063	-0.109	0.047 †	-0.106	0.046 †	-0.137	0.091	-0.147	0.080	-0.147	0.079	-0.068	0.067	-0.076	0.052	-0.077	0.050	
派遣社員	0.046	0.149	-0.003	0.116	-0.002	0.115	-0.028	0.132	-0.067	0.156	-0.067	0.156	-0.101	0.146	-0.137	0.137	-0.139	0.137	
契約社員	-0.129	0.099	-0.178	0.047 **	-0.176	0.048 **	0.014	0.096	-0.047	0.061	-0.047	0.061	0.149	0.089	0.097	0.064	0.096	0.066	
その他	0.334	0.409	0.276	0.273	0.279	0.272	0.431	0.315	0.406	0.149 *	0.405	0.149 *	0.378	0.288	0.352	0.204	0.351	0.206	
仕事内容																			
専門職・技術職	(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		(ref.)		
管理職	0.012	0.107	-0.030	0.113	-0.028	0.113	0.038	0.090	0.008	0.109	0.008	0.109	0.066	0.063	0.038	0.077	0.038	0.076	
事務職	0.007	0.058	0.087	0.062	0.090	0.061	0.011	0.070	0.097	0.081	0.097	0.081	0.020	0.051	0.094	0.057	0.093	0.059	
販売職	0.024	0.093	0.055	0.069	0.061	0.071	0.115	0.063	0.151	0.047 *	0.151	0.048 *	0.106	0.085	0.136	0.061 †	0.135	0.061 †	
サービス職	0.010	0.114	0.075	0.091	0.078	0.090	-0.029	0.103	0.022	0.083	0.022	0.084	-0.069	0.115	-0.023	0.102	-0.023	0.104	
生産現場・技能職	-0.147	0.182	-0.004	0.198	-0.006	0.199	-0.052	0.202	0.088	0.211	0.088	0.210	-0.144	0.167	-0.021	0.174	-0.021	0.174	
運輸・保安職	-0.107	0.144	0.059	0.146	0.057	0.148	0.046	0.144	0.199	0.144	0.199	0.144	-0.063	0.080	0.073	0.078	0.073	0.078	
その他	-0.050	0.126	-0.077	0.059	-0.081	0.058	-0.136	0.086	-0.170	0.093	-0.170	0.092 †	-0.295	0.165	-0.327	0.127 *	-0.326	0.128 *	
外国人一般への寛容度			0.078	0.013 **	0.078	0.013 **			0.095	0.007 **	0.095	0.007 **			0.080	0.006 **	0.080	0.006 **	
外国人・外国文化との接触頻度			0.070	0.008 **	0.071	0.009 **			0.052	0.006 **	0.052	0.006 **			0.048	0.007 **	0.047	0.007 **	
外国人比率					1.465	1.036												-0.328	1.335
N	1137		1137		1137		1136		1136		1136		1136		1136		1136		
R2乗	0.028		0.217		0.218		0.039		0.250		0.250		0.039		0.211		0.211		
調整済みR2乗	0.013		0.204		0.204		0.024		0.237		0.237		0.024		0.198		0.197		

** 1%有意、 * 5%有意、 † 10%有意

分析結果

- 外国人一般への寛容度と外国人・外国文化との接触頻度は、どの外国人にも正の効果をもつ
- 先行研究と異なる分析結果として、男性ダミーが一部に有意な負の効果をもっていた
(永住権・結婚にて移住・留学生)
 - 外国人寛容度の質問でも同様の傾向が見られた
 - 川崎市にみられる特徴？
- 地域の外国人比率は、一部に負の効果をもつ
(永住権・結婚にて移住)

分析結果

- カテゴリーごとに有意となる変数が異なる結果に。
 - 永住権 : 性別・居住年数・仕事内容・外国人比率
 - 結婚相手 : 性別・外国人比率
 - 単純労働 : 世帯年収・仕事内容
 - 専門職 : 従業上の地位
 - 観光客 : 年齢・従業上の地位
 - 留学生 : 性別・年齢・教育年数・居住年数・
従業上の地位・仕事内容
 - 日系人 : 年齢・仕事内容

まとめ

- 7地区のなかでも外国人率の高い地区に外国人への親近感が低い傾向がみられるなど、外国人比率が負の影響を与えていることが示唆された
- それぞれの滞在理由別に外国人への親近感を規定する要因が異なることが明らかになった
- 外国人「寛容度」ではなく外国人への「親近感」を分析の主眼に置いたため、この分析結果の妥当性は今後吟味していく必要がある

文献

- ❑ Allport, G. W., 1954, *The Nature of Prejudice*, Mass: Addison-Wesley. (=1961, 原谷達夫・野村昭訳『偏見の心理』培風館.)
- ❑ 濱田国佑, 2008, 「外国人住民に対する日本人住民意識の変遷とその規定要因」『社会学評論』59(1): 216-31.
- ❑ 伊藤泰郎, 2000, 「社会意識とパーソナルネットワーク」森岡清志編『都市社会のパーソナルネットワークの構造と変容』東京大学出版会, 141-59.
- ❑ 鐘ヶ江晴彦, 2001, 「外国人労働者をめぐる住民意識の現状とその規定要因」鐘ヶ江晴彦編『外国人労働者の人権と地域社会』明石書店, 18-80.
- ❑ 松本康, 2004, 「外国人と暮らす——外国人に対する地域社会の寛容度」松本康編『東京で暮らす——都市社会構造と社会意識』東京都立大学出版会, 197-219.
- ❑ ——, 2006, 「地域社会における外国人への寛容度——隣人ネットワークが媒介する居住地効果」広田康生・町村敬志・田嶋淳子・渡戸一郎編『先端都市社会学の地平』ハーベスト社, 8-32.
- ❑ 永吉希久子, 2008, 「排外意識に対する接触と脅威認知の効果」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版General Social Surveys 研究論文集』7: 259-70.
- ❑ 中澤渉, 2007, 「在日外国人の多寡と外国人に対する偏見との関係」『ソシオロジ』52(2): 75-91.
- ❑ Nukaga, M., 2006, “Xenophobia and the Effect of Education,” 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版General Social Surveys 研究論文集』5: 191-202.

文献

- 大槻茂実, 2006, 「外国人接触と外国人意識」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版General Social Surveys 研究論文集』5: 149-59.
- ———, 2007, 「外国人の増加に対する日本人の見解」『社会学論考』28: 1-25.
- ———, 2009, 「「外国人」とは誰か——外国人増加意識における「外国人」カテゴリーの検討」『年報社会学論集』22: 92-102.
- Primo, D. M., Jacobsmeier, M. L. and J. Milyo, 2007, “Estimating the Impact of State Policies and Institutions with Mixed-Level Data,” *State Politics & Policy Quarterly*, 7(4): 446–59.
- 田辺俊介, 2002, 「外国人への排他性とパーソナルネットワーク」森岡清志編『パーソナルネットワークの構造と変容』東京大学出版会, 101-20.
- ———, 2004, 「「近い国・遠い国」——多次元尺度構成法による世界認知構造の研究」『理論と方法』36: 235-49.
- 寺島拓幸・本田量久, 2009, 「グローバル化する消費嗜好と外国人に対する意識」『応用社会学研究』51: 157-66.
- 山本かほり・松宮朝, 2010, 「外国籍住民集住都市における日本人住民の外国人意識」『日本都市社会学年報』28: 117-34.